(3) 季節別観光入込客数の内訳

■ 「秋（9～11月）」が最も多く、観光入込客数は1,512万1,259人で全体の28.9%、前年と比べ10.9%増と伸びが目立つ。国スポ・障スポ開催の影響に加え、紅葉需要や気候が安定して屋外観光に適し、各地のイベントや周遊旅行が重なりやすいことが要因と考えられる。

■ 「冬（1・2・12月）」は1,049万4,327人（前年比5%減）で最少であった。一方、宿泊客数は78万9,745人で前年と比べて5.1%増となった。年末年始需要や温泉・スキー、冬季イベントが宿泊を下支えした。

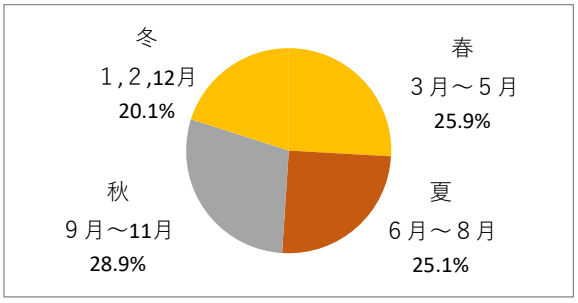
表３　季節別内訳

季　節	観光入込客数	比率	対前年増減率	前年観光入込客数	宿泊客数	比率	対前年増減率	前年宿泊客数
春 ３月～５月	13,540,989	25.9%	2.4%	13,228,202	1,057,422	25.8%	4.6%	1,011,174
夏 ６月～８月	13,145,972	25.1%	5.0%	12,522,885	1,106,573	27.0%	6.1%	1,043,235
秋 ９月～11月	15,121,259	28.9%	10.9%	13,639,029	1,147,848	28.0%	10.7%	1,036,907
冬 １，２，12月	10,494,327	20.1%	▲5.0%	11,048,145	789,745	19.3%	5.1%	751,760
合　計	52,302,547	100.0%	3.7%	50,438,261	4,101,588	100.0%	6.7%	3,843,076

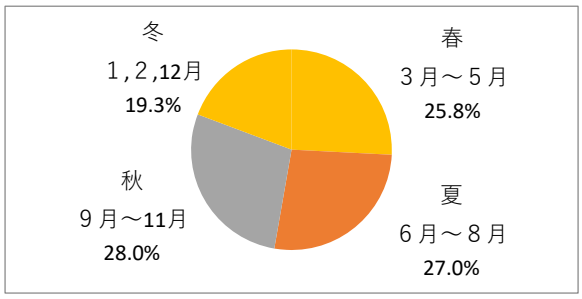
（注意）　端数の関係上、合計と一致しないことがある。

グラフ３　季節別内訳

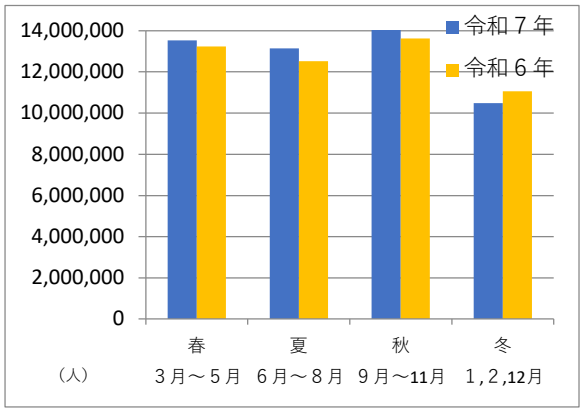
▼観光入込客数比率



▼宿泊客数比率



▼観光入込客数



▼宿泊客数

